

令和7年度 千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター

相談事例集 Ver.1

千葉県 環境生活部 温暖化対策推進課

Guidance

「千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター」では、千葉県内に事業所を持つ事業者様からの“脱炭素”に関するご相談を無料で受け付けています。

この度、令和7年度にいただいたご相談の一部を「事例集」としてまとめました。

県内企業が、続々と脱炭素経営に取り組みはじめています。

何から手を付けたらよい？進め方はどうしたら？など、
「千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター」へお気軽にご相談ください。

皆さまのご利用をお待ちしています！



Index

	ご相談テーマ	業種	従業員数	エリア
Case.01	サーモグラフィーを使用した工場診断で省エネのアドバイスがほしい！	製造業	51～100名	印旛
Case.02	取引先との関係強化を見据え、脱炭素経営に取り組みたい！	ガス・エネルギー業	31～50名	東葛
Case.03	取引先の動向をふまえた脱炭素対応と経営力強化に取り組みたい！	製造業	51～100名	京葉
Case.04	取引先からの要請をふまえ、さらなる脱炭素化を進めたい！	製造業	101～200名	印旛

今後、随時更新していきます

相談事例集 (Case.01)

サーモグラフィーを利用した工場診断で省エネのアドバイスがほしい！

利用者概要

業 種	製造業
地 域	印旛エリア
従業員数	51～100名
事業内容	高い技術で精密なプラスチック機器の部品を製造しています。



相談員コメント

実際に工場を調査し、省エネできるポイントを具体的にお話しました。
設備更新と運用改善の両方に取り組んでいきましょう。



相談員：稲葉



利用者のお悩み



工場主任

- ✓ 補助金を活用したLED化を考えており、更新によってどれほどCO2排出量が削減できるのか知りたい。
- ✓ 工場内で熱がこもっているので、解消したい。
- ✓ さらなる省エネの取組を行い、エネルギーコストを削減したい。



相談員による提案・アドバイス

1

工場の現状を“知る”

サーモグラフィーで測定し、設備ではなく、窓からの日差しによる熱の影響が大きいことがわかりました。

2

排出量を“測る”

CO2排出量の計算方法を案内し、蛍光灯からLEDに更新した際の排出量を算定しました。

3

排出量を“減らす”

工場をみて、省エネのアイデアを提案。
熱については、遮熱・断熱が効果的であり、補助金を活用した更新を提案しました。



今後取り組むこと



工場主任

- ✓ LED化の効果をシミュレーションしてもらい、更新の決心がついた。
- ✓ 従業員から、熱による職場の暑さを改善してほしいと言われていたが、空調の追加以外に思い当たらず困っていた。原因がわかったので、対応できる。
- ✓ 省エネの具体的なアドバイスをもらったので、実行していきたい。

今後の
予定

省エネのアイデアを実行し、**エネルギーコスト削減と職場環境改善**を叶える！

相談事例集 (Case.02)

取引先との関係強化を見据え、脱炭素経営に取り組みたい！

利用者概要

業種	ガス・エネルギー業
地域	東葛エリア
従業員数	31～50名
事業内容	地域の利用者へ安定的・安全にエネルギーを供給しています。



相談員コメント

業界や同業他社の動向をふまえ、認証の取得に向けた取組についてご案内しました。取組を継続できる社内体制づくりも大切です。



相談員：稲葉



利用者のお悩み



社長
&
役員

- ✓ エネルギー供給に関わる会社として脱炭素経営に取り組み、取引先へもアピールしていきたい。
- ✓ 環境認証制度の取得も視野に入りたい。
- ✓ 現状、CO2排出量の把握ができていない。
- ✓ 同業他社はどうしているのだろうか？



相談員による提案・アドバイス

- 1 脱炭素経営について“知る”**
脱炭素経営のステップについて案内し、取得できる認証制度や同業他社の取組内容を紹介しました。
- 2 排出量を“測る”**
まずは自社の現状を知るため、燃料や電気の使用量からScope1、2の算定に取り組みました。
- 3 排出量を“減らす”**
事業所の状況を現地調査し、遮熱・断熱、太陽光発電設備導入や電気自動車導入による削減可能性について紹介しました。



今後取り組むこと



社長
&
役員

- ✓ 排出量の計算は、どの資料のどの数値を使えばいいか案内を受け、意外と簡単にできることが分かった。これなら自社で継続できそう。
- ✓ 集めたデータをどのように活用していくか、考えていく必要があると感じた。
- ✓ 同業他社の取組も参考に、今後、どのようにアピールしていくか検討したい。

今後の
予定

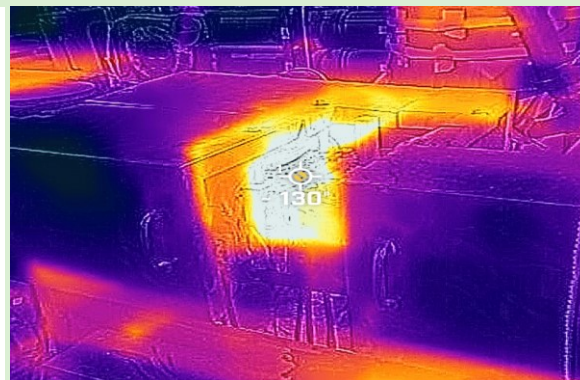
脱炭素経営に取り組む企業として、**積極的に取引先へアピールしていく！**

相談事例集 (Case.03)

取引先の動向をふまえた脱炭素対応と経営力強化に取り組みたい！

利用者概要

業 種 製造業
地 域 京葉エリア
従業員数 51～100名
事業内容 プラスチックの加工等
を行っています。



相談員コメント

サーモグラフィーで工場内の熱環境を可視化し、対策を提案しました。
経営力強化に向け、脱炭素経営に取り組みましょう。



相談員：大柳



利用者のお悩み



社長付

- ✓ 取引先からサプライチェーン全体での脱炭素対応を求められた。
- ✓ エネルギーコストを削減して収益性も上げたい。製造過程では、電熱ヒーターや押出機を使用する。
- ✓ 工場内の熱環境を可視化して労働環境の改善に繋がりたい。



相談員による提案・アドバイス

1

自社の現状について“知る”

製造費用に占める電気代がそれなりの割合にあり、エネルギー効率の改善が課題です。脱炭素対応のため、CO2排出量を把握する必要があります。

2

熱環境を“測る”

工場内の熱環境を測定すると、製造機械の放射熱や外壁・屋根の蓄熱が原因と特定できました。

3

エネルギー使用量を“減らす”

製造機械の輻射熱の断熱について提案しました。今後、電力などのエネルギー使用量をEMSでモニタリングし、使用実態をふまえて打ち手が検討できると、さらに効果的です。



今後取り組むこと



社長付

- ✓ 現状が確認でき、次のステップはCO2排出量を測ることと理解した。
- ✓ 売上UPに向け、機械は余力があるが、マンパワーが足りない。作業環境を改善して、人手不足の対策をしたい。
- ✓ 取引先が脱炭素経営に舵を切って動き出している。先回りして脱炭素経営を目指したい。

今後の
予定

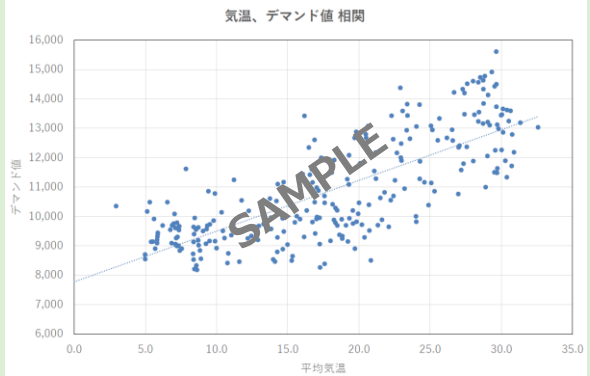
CO2排出量を算定し改善ターゲットを決め、**脱炭素に向けた目標を設定する**

相談事例集 (Case.04)

取引先からの要請をふまえ、さらなる脱炭素化を進めたい！

利用者概要

業種	製造業
地域	印旛エリア
従業員数	101～200名
事業内容	高品質な水産物を顧客要望に合わせて加工しています。



相談員コメント
データを活用して、改善のポイントが見つかりました。設備の利用状況等と併せて見ていくことで、他にも発見がありそうです。



相談員：森

 利用者のお悩み

 相談員による提案・アドバイス

 今後取り組むこと



社長

- ✓ 取引先の大手小売店から、脱炭素の取組を求められている。
- ✓ 太陽光パネルの設置やLED化、空調更新など考えられることは実施済みで、これ以上思い浮かばない。
- ✓ 具体的なCO2排出量も把握できていない。

- 1 自社の現状について“知る”**
30分ごとの電気使用量や外気温が記録されたデータを整理し、グラフ化のうえ分析しました。
- 2 使用量を“測る”**
冬の午前8時からの30分間の電気使用量が最高となる傾向がわかりました。
- 3 使用量を“減らす”**
ピーク電力を抑えるため、朝の設備への電源投入時間を分散することを提案しました。



社長

- ✓ デマンドデータはあったものの、分析や活用ができていなかった。今回、データから使用電力量を分析してもらい、これまでの認識が相違していたことがわかった。
- ✓ 今回の結果を受けて対応を変えることとした。他にも脱炭素の取組を進めていくため、引き続き助言がほしい。

今後の予定 取引先との関係強化とエネルギーコスト削減の両方のメリットを獲得していく！

千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター

千葉市美浜区中瀬1-10-2 ちばぎん幕張ビル
(株式会社ちばぎん総合研究所内)

☎ 043-296-3217

✉ chiba-soudan@crinet.co.jp

受付時間：平日 9時～12時、13時～17時

土日祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

千葉県 脱炭素化 相談



<https://www.pref.chiba.lg.jp/ontai/hojo/r7datsutanso-center.html>